行事ピックアップ

雪国民俗館　香港の大学院生が訪問

香港中文大学日本研究学科の大学院生が雪国民俗館本館と展示室を訪れました。この日、ノースアジア大学雪国民俗学研究会の学生との意見交換会も実施。互いに刺激を受けあいながら、親睦を深めました。

ノースアジア大　ウインドオーケストラ・コンサートにノースアジア大学竿燈会も参加

総合研究センター主催のウインドオーケストラ・コンサート。今年は、初めてノースアジア大の竿燈会が出演しました。秋田の伝統文化と吹奏楽、秋田市立山王中学校吹奏楽部との共演など、豪華なステージが実現し、会場が盛り上がりました。

ノースアジア大　栄養短大　保護者を対象にした就職ガイダンスを開催

ノースアジア大と栄養短大の保護者を対象とした就職ガイダンスを開催しました。キャリアセンターと国家試験等センターで行っている具体的な支援内容を紹介したほか、企業の人事担当者による講演など、充実した内容で行い、保護者から好評を得ていました。

看護福祉大　就職率100%の看護福祉大で合同就職面談会を開催

秋田看護福祉大学で合同就職面談会を開催しました。東北・首都圏から、医療機関など多数の団体が参加。この日参加した看護・福祉学科の学生は積極的に採用担当者のもとを訪れて情報収集を行い、就職活動に生かしていました。

幼稚園　大学生と楽しく交流したおとまり会

さくら幼稚園でおとまり会を開きました。夕食では、ノースアジア大の学生と一緒に、自分たちで皮をむいたじゃがいもが入ったカレーライスを食べました。夕飯を食べた後には、竿燈で交流するなど楽しい会となりました。

最新情報は公式サイト、フェイスブックで

- ■ノースアジア大学
  http://www.nau.ac.jp/
- ■秋田看護福祉大学
  http://www.well.ac.jp/
- ■秋田栄養短期大学
  http://www.akita-eiyo.ac.jp/
- ■明桜高校
  http://www.meioh.ed.jp/
- ■ノースアジア大学附属のびのびこども園
  http://www.nau-ny.jp/
- ■ノースアジア大学附属さくら幼稚園
  http://www.nau-sy.jp/
- ■学校法人ノースアジア大学
  http://www.northasia.jp/

学校法人ノースアジア大学　検索

さくら SAKURA No.254
平成30年12月28日　編集・発行　学園広報担当　〒010-8515 秋田市下北手桜守沢46-1　Tel. 018-836-6527　Fax. 018-836-3321　URL. http://www.northasia.jp/

さくら

学校法人ノースアジア大学
【学園広報誌】
254号
December

【特集1】全国トップクラスの就職率を実現するキャリア支援
～ノースアジア大学　法律学科～
【特集2】福祉学科「行政・企業コース」の魅力
～秋田看護福祉大学　秋田キャンパス～

- 財務情報
- 行事ピックアップ

NORTH ASIA UNIVERSITY SINCE1953

特集 1

全国トップクラスの就職率を実現するキャリア支援
～ノースアジア大学　法律学科～

ノースアジア大学法律学科は、全国の国公私立大学555校による学部別実就職率ランキング（法学部の部門）で4位（※）に位置しています。今回の特集では、全国トップクラスの就職率を達成している法律学科のキャリア支援に迫ります。

（※）『AERA MOOK　就職力で選ぶ大学2019』（朝日新聞出版）学部別実就職率ランキング

公務員・民間企業ともに「就職に強い」

法律学科の卒業生は、自治体の公務員として地域社会に貢献しているほか、東証一部上場企業、金融機関など民間企業で活躍しています。在学中の手厚いキャリア支援が効果をあげていることに加え、卒業生の就職先での活躍が評価され、後輩の採用拡大につながるなど、質の高い実績を維持しています。

ノースアジア大学　法律学科　過去５ヵ年の就職内定先（抜粋）［平成25年度～平成29年度］

［公務員］ 大館市役所、仙北市役所、八戸市役所、秋田市役所、大仙市役所

［民間企業］ 野村證券㈱、SMBC日興証券㈱、㈱北都銀行、秋田信用金庫、気仙沼信用金庫、秋田県信用組合
日本郵便㈱、日本年金機構、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構、東日本旅客鉄道㈱
青山商事㈱、リコージャパン㈱、㈱NTT東日本―東北、イケア・ジャパン㈱、日本交通㈱
ブリヂストンタイヤジャパン㈱、秋田県厚生農業協同組合連合会　など

理由その1　目標をもって大学生活を送るための初年次教育が充実

学生一人ひとりが目標をもって大学生活を送ることができるように、初年次教育に力を入れている法律学科。入学直後には、教員と学生、新入生同士の親睦を深める「新入生研修会」を実施しているほか、「学生生活入門」といった授業を通して、円滑な大学生活を送るために必要な情報を提供しています。

「学生生活入門」では、大学生活全般の指導に加え、学期末にはクラス担任と面談を行っています。勉強や大学生活についての状況を確認するほか、将来進みたい方向性を情報共有するなど、卒業後の姿を見据えた支援が学生から好評です。

また、キャリア教育の一環として、「公務員参観」を実施。公務員が働く姿を間近で見学することができるため、学生が将来の姿を見つめ、考える貴重な機会となっています。

このように、必要な情報を提供しながら、卒業後の進路に関心を持つように働きかけるなど、学生一人ひとりの心に寄り添った初年次教育を展開しています。

［学生生活入門　主なテーマ］

- ○法律用語の基礎
- ○エントリーシートの作成
- ○個人面談
- ○図書館、電算室の使い方
- ○ディベート
- ○レポートの書き方　など

理由その2　希望進路にあわせて選べる専門科目

専門科目を自由に選択できる法律学科。学生が将来の目標や職業、興味・関心を持っている科目を中心に勉強することができます。

法律学科では、指針となる3つのコースを設けているほか、専門科目を「法律」「政策」「キャリア」の3つに分類。「スポーツと法」「公務員セミナー」「人間行動学」など、本学ならではの特色ある科目を開講しています。

法律学やそれに関連する知識が必要とされる機会は多く、金融機関、報道機関、不動産、企業の法務部門など、幅広い分野での活躍が期待されます。

分類された多彩な専門科目のなかから進路などへのかかわりのある内容を深めたり、バランス良く学んだりすることによって、将来の可能性を広げることにつながっています。

【法律系】	【政策系】	【キャリア系】
●統治機構	●公共政策論	●スポーツと医学
●司法実務	●地域政策実習	●法曹・公務員仕事入門
●刑法	●都市政策論	●公務員セミナー
●模擬裁判	●社会政策	●キャリアサポート
●スポーツと法	●行政学	●人間行動学
●会社法	●景観行政論	●インターンシップ
●地方自治法	●財政学	●スピーチ
●知的財産権法	●スポーツと行政	●スポーツ心理学
など	など	など

理由その3　ゼミナール担当教員がゼミ生の進路決定まで手厚く支援

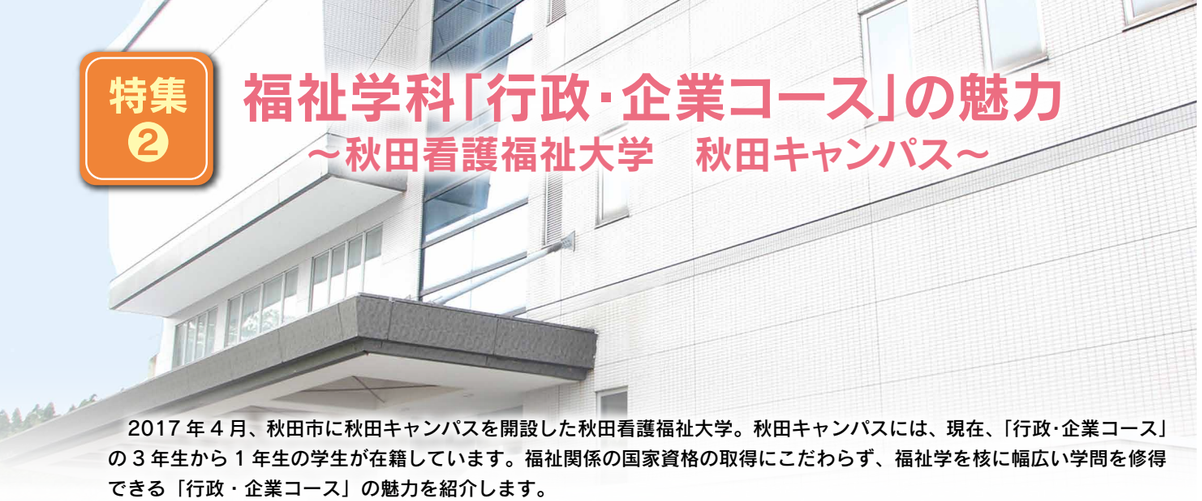
2年生になると、ゼミナール担当教員が中心となって、学習・生活・進路といった学生の大学生活全般を支援します。3年生では、夏季休業期間中に、キャリアセンターと連携して進路の状況を確認する個別面談を実施。また、4年生では、ゼミナールの時間を中心に、内定獲得に向けての支援を行います。就職活動の状況や今後のスケジュールなどを確認し、教員と学生が信頼関係を築きながら、ともに、希望進路の実現を目指します。

このように、初年次教育や特色あるカリキュラム、ゼミナール担当教員による進路支援など、4年間を通して充実したキャリア支援を展開している法律学科。学生一人ひとりが目標をもって大学生活を送るように支援することで、難関の公務員採用試験の合格者を輩出しているほか、民間企業への就職も好調で全国トップクラスの就職に強い大学へと発展しています。

PICK UP

将来を見据えた法律学科3つのコース

- **◎行政コース**　国家公務員（一般職など）、地方公務員（県庁や市役所など）を育成
- **◎企業コース**　民間企業で活躍するビジネスパーソンを育成
- **◎法律コース**　法律学を生かした公務員、民間企業の法務部門などで活躍する人材を育成



特集②

福祉学科「行政・企業コース」の魅力
～秋田看護福祉大学　秋田キャンパス～

2017年4月、秋田市に秋田キャンパスを開設した秋田看護福祉大学。秋田キャンパスには、現在、「行政・企業コース」の3年生から1年生の学生が在籍しています。福祉関係の国家資格の取得にこだわらず、福祉学を核に幅広い学問を修得できる「行政・企業コース」の魅力を紹介します。

秋田看護福祉大学
福祉学科「行政・企業コース」

福祉学に加え新たに経営学、法学、観光学、栄養学といった幅広い分野を学習し、公務員、社会福祉法人、一般企業、非営利法人などへの就職を目指します。

Point 1 “福祉の視点”で自治体・企業をマネジメントする力が身に付く

誰もが安心して生き生きと暮らせる社会を実現するためには、より良い環境を構築する福祉マインド、そして、マネジメント能力を兼ね備えた人材が不可欠です。多様化した現代社会では、福祉の理念を地域社会やビジネスの領域で具体化し、企画、運営のできる人材の活躍が期待されています。

現在、社会福祉は広義に捉えられ、生活困窮者の保護・救済にとどまらず、国民全体の生活の安定を支える役割を果たすことが求められています。その施策は社会保障をはじめ保健、医療、教育、雇用保障など多岐の分野に拡大。そこで経済、経営、法律、観光といった社会の動向や栄養など人々の暮らしも総合的に考える、複合的な教育が必要になっているのです。

このような観点から、本学福祉学科は秋田キャンパス「行政・企業コース」を設置しました。このコースでは幅広い専門分野から、興味・関心、将来の目標に応じた科目を効果的に履修できる環境を整えています。福祉学を中心に幅広い分野を学ぶことで、自治体・企業をマネジメントする力を身に付け、福祉分野を支援する公務員や一般企業で活躍する人材を育成しています。

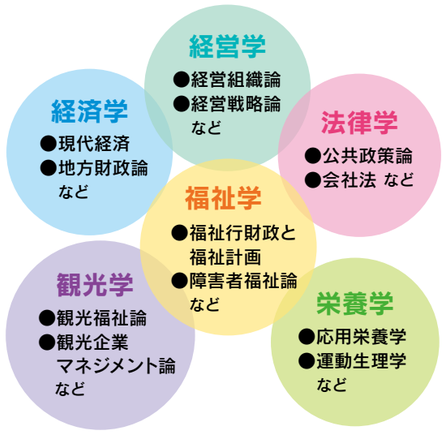
【広がる活躍の場】

行政	福祉	企業
省庁、県庁 市役所　など	社会福祉法人 社会福祉協議会　など	一般企業 NPO法人　など

Point 2 知的好奇心を刺激する6つの専門分野

行政・企業コースでは、秋田キャンパスを拠点としながら、看護福祉大の対面授業と遠隔授業で、福祉分野の知識をしっかりと身に付けることができます。また、6つの専門分野を学べる柔軟なカリキュラムを実現したことで、将来の職業や働き方を幅広く選択できるようになりました。

卒業後の将来像としては、福祉分野で働く人のための環境や制度づくりを公務員として担うことが考えられます。また、一般企業においては、福祉サービスをはじめ、商品開発・企画・営業など幅広い分野において、対象者や家族のQOL(Quality Of Life)に配慮しながら、安心して暮らせる地域と環境を担う人材として活躍することが期待されます。



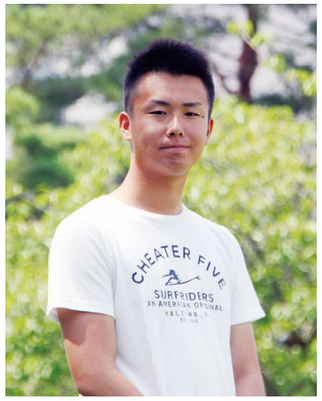
Point 3 10年連続就職率100%の就職実績と安心のサポート

看護福祉大は、看護・福祉学科ともに10年連続で就職率100%を達成しているほか、秋田キャンパスの敷地内にあるノースアジア大学・秋田栄養短期大学は、ともに高い就職率を維持しています。

秋田キャンパスでは、資格取得支援のための特別講座を受講することで、時間を有効に活用しながら、卒業後の可能性を広げることができます。

また、一般企業への就職を希望している学生は、ノースアジア大・栄養短大のキャリアセンターで必要な就職支援を受けることが可能です。公務員志望の学生は、国家試験等センターを利用することで効率よく受験対策を進めることができます。

INTERVIEW 硬式野球部の一員として、北東北大学野球リーグに参加



鎗目（やりのめ） 啓太（けいた）さん
（福祉学科／行政・企業コース 1年）

《卒業後の目標》
公務員（行政職）

Q 看護福祉大の硬式野球部へ入部した理由は？
A 小学校から中学校まで、野球部に所属していました。看護福祉大にも硬式野球部があると知り、また挑戦したいと思ったからです。

Q 部活動に参加してみての感想は？
A 頼りになる先輩たちと一緒に、野球に打ち込むことができて、楽しいです。看護福祉大は北東北大学野球リーグに所属していますので公式戦にも出場する機会があります。秋のリーグ戦では、一致団結して、3位の成績を収めることができました。

Q 勉強と部活動の両立はどうですか？
A リーグ戦の期間は、毎週末試合があるため、時間を有効に使うことができるように意識しています。福祉学の勉強に加えて、公務員採用試験対策、硬式野球部の活動と、忙しくも充実した毎日を過ごしています。

公式戦での様子

PICK UP

秋田・大館両キャンパス、ノースアジア大・栄養短大の施設が利用可能

秋田キャンパスの学生は、同じ敷地内にあるノースアジア大・栄養短大の学生食堂、大館キャンパスの図書館・ロッカー室をはじめとした学園の施設を利用することができます。また公務員志望の学生は、高い合格実績をあげているノースアジア大の国家試験等センターを利用して、公務員採用試験の合格を目指すことが可能。充実した大学生活を送ることができる環境も魅力の一つです。

平成29年度決算

資金収支計算書

（単位：千円）

科　目	予　算	決　算	差　異
学生生徒等納付金収入	1,947,440	1,971,146	△ 23,706
手数料収入	34,182	40,015	△ 5,833
寄付金収入	19,750	19,750	0
補助金収入	569,311	658,711	△ 89,400
資産売却収入	0	151,842	△ 151,842
付随事業・収益事業収入	170,990	195,452	△ 24,462
受取利息・配当金収入	16,072	23,570	△ 7,498
雑収入	43,276	46,530	△ 3,254
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	361,127	417,423	△ 56,296
その他の収入	341,688	372,479	△ 30,791
資金収入調整勘定	△ 586,919	△ 572,680	△ 14,238
前年度繰越支払資金	7,993,424	7,993,424	0
収入の部合計	10,910,341	11,317,667	△ 407,326

（単位：千円）

科　目	予　算	決　算	差　異
人件費支出	1,180,530	1,151,431	29,098
教育研究経費支出	631,392	582,627	48,764
管理経費支出	353,246	316,389	36,856
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	0	0	0
設備関係支出	38,948	38,604	343
資産運用支出	334,000	785,821	△ 451,821
その他の支出	339,248	335,546	3,701
〔予備費〕	12,000		12,000
資金支出調整勘定	△ 154,000	△ 135,349	△ 18,650
翌年度繰越支払資金	8,174,977	8,242,595	△ 67,618
支出の部合計	10,910,341	11,317,667	△ 407,326

＜千円未満切り捨て＞

活動区分資金収支計算書

（単位：千円）

		科　目	金　額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	1,971,146
		手数料収入	40,015
		特別寄付金収入	19,750
		経常費等補助金収入	658,711
		付随事業収入	195,452
		雑収入	46,530
		教育活動資金収入計	2,931,606
	支出	人件費支出	1,151,431
		教育研究経費支出	582,627
		管理経費支出	316,389
		教育活動資金支出計	2,050,449
	差引		881,157
	調整勘定等		△ 210
	教育活動資金収支差額		880,946
施設整備等活動による資金収支		科　目	金　額
	支出	設備関係支出	38,604
		秋田看護福祉大学減価償却引当特定資産繰入支出	134,000
		ノースアジア大学減価償却引当特定資産繰入支出	200,000
		施設整備等活動資金支出計	372,604
	差引		△ 372,604
	調整勘定等		△ 9,154
	施設整備等活動資金収支差額		△ 381,759
	小計(教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額)		499,187

（単位：千円）

		科　目	金　額
その他の活動による資金収支	収入	有価証券売却収入	151,842
		教職員退職給与引当特定預金取崩収入	15,056
		貸付金回収収入	1,215
		預り金受入収入	182,531
		立替金回収収入	884
		小計	351,529
		受取利息・配当金収入	23,570
		その他の活動資金収入計	375,100
	支出	有価証券購入支出	451,821
		貸付金支払支出	600
		預り金支払支出	172,695
		小計	625,116
		その他の活動資金支出計	625,116
	差引		△ 250,016
	その他の活動資金収支差額		△ 250,016
支払資金の増減額(小計＋その他の活動資金収支差額)			249,171
前年度繰越支払資金			7,993,424
翌年度繰越支払資金			8,242,595

＜千円未満切り捨て＞

事業活動収支計算書

（単位：千円）

		科　目	予　算	決　算	差　異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,947,440	1,971,146	△ 23,706
		手数料	34,182	40,015	△ 5,833
		寄付金	20,250	19,828	421
		経常費等補助金	569,311	658,711	△ 89,400
		付随事業収入	170,990	195,452	△ 24,462
		雑収入	43,276	46,530	△ 3,254
		教育活動収入計	2,785,449	2,931,685	△ 146,236
		科　目	予　算	決　算	差　異
	事業活動支出の部	人件費	1,190,530	1,141,950	48,579
		教育研究経費	994,137	932,861	61,275
		管理経費	381,267	341,682	39,584
		徴収不能額等	8,000	5,029	2,970
		教育活動支出計	2,573,934	2,421,524	152,409
	教育活動収支差額		211,515	510,161	△ 298,646

（単位：千円）

		科　目	予　算	決　算	差　異
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	16,072	23,570	△ 7,498
		教育活動外収入計	16,072	23,570	△ 7,498
	事業活動支出の部	科　目	予　算	決　算	差　異
		借入金等利息	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0
	教育活動外収支差額		16,072	23,570	△ 7,498
経常収支差額			227,587	533,732	△ 306,145
特別収支	事業活動収入の部	科　目	予　算	決　算	差　異
		資産売却差額	0	310	△ 310
		その他の特別収入	0	349	△ 349
		特別収入計	0	660	△ 660
	事業活動支出の部	科　目	予　算	決　算	差　異
		資産処分差額	502	38	463
		特別支出計	502	38	463
		特別収支差額	△ 502	621	△ 1,123
〔予備費〕			30,000		30,000
基本金組入前当年度収支差額			197,085	534,353	△ 337,268
基本金組入額合計			△ 42,448	△ 47,706	5,258
当年度収支差額			154,637	486,647	△ 332,010
前年度繰越収支差額			4,834,450	4,834,450	0
基本金取崩額			0	0	0
翌年度繰越収支差額			4,989,087	5,321,097	△ 332,010
（参考）					
事業活動収入計			2,801,521	2,955,916	△ 154,395
事業活動支出計			2,604,436	2,421,562	182,873

＜千円未満切り捨て＞

貸借対照表

（単位：千円）

資　産　の　部			
科　目	本年度末	前年度末	増(△)減
固定資産	22,483,203	22,201,738	281,465
有形固定資産	9,682,686	10,015,797	△ 333,110
特定資産	12,186,088	11,867,145	318,943
その他の固定資産	614,428	318,796	295,631
流動資産	8,469,263	8,246,441	222,821
資産の部合計	30,952,467	30,448,180	504,286

（単位：千円）

負　債　の　部			
科　目	本年度末	前年度末	増(△)減
固定負債	97,189	109,395	△ 12,205
流動負債	686,397	704,258	△ 17,861
負債の部合計	783,586	813,653	△ 30,067
純　資　産　の　部			
基本金	24,847,782	24,800,076	47,706
第1号基本金	23,025,308	22,981,602	43,706
第2号基本金	900,000	900,000	0
第3号基本金	761,473	761,473	0
第4号基本金	161,000	157,000	4,000
繰越収支差額	5,321,097	4,834,450	486,647
純資産の部合計	30,168,880	29,634,526	534,353
負債及び純資産の部合計	30,952,467	30,448,180	504,286

＜千円未満切り捨て＞

平成30年度予算

資金収支予算書

（単位：千円）

科　目	本年度予算	前年度予算	増(△)減
学生生徒等納付金収入	1,975,650	1,947,440	28,210
手数料収入	34,133	34,182	△ 49
寄付金収入	0	19,750	△ 19,750
補助金収入	523,145	569,311	△ 46,166
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	161,028	170,990	△ 9,962
受取利息・配当金収入	21,386	16,072	5,314
雑収入	51,021	43,276	7,745
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	385,859	361,127	24,732
その他の収入	328,150	341,688	△ 13,538
資金収入調整勘定	△ 522,124	△ 586,919	64,795
前年度繰越支払資金	8,174,977	7,993,424	181,553
収入の部合計	11,133,225	10,910,341	222,884

（単位：千円）

科　目	本年度予算	前年度予算	増(△)減
人件費支出	1,259,358	1,180,530	78,828
教育研究経費支出	653,691	631,392	22,299
管理経費支出	383,842	353,246	30,596
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	294,550	0	294,550
設備関係支出	47,428	38,948	8,480
資産運用支出	334,000	334,000	0
その他の支出	312,128	321,248	△ 9,120
〔予備費〕	30,000	30,000	0
資金支出調整勘定	△ 133,544	△ 154,000	20,456
翌年度繰越支払資金	7,951,772	8,174,977	△ 223,205
支出の部合計	11,133,225	10,910,341	222,884

事業活動収支予算書

（単位：千円）

		科　目	本年度予算	前年度予算	増(△)減
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,975,650	1,947,440	28,210
		手数料	34,133	34,182	△ 49
		寄付金	500	20,250	△ 19,750
		経常費等補助金	523,145	569,311	△ 46,166
		付随事業収入	161,028	170,990	△ 9,962
		雑収入	51,021	43,276	7,745
		教育活動収入計	2,745,477	2,785,449	△ 39,972
		科　目	本年度予算	前年度予算	増(△)減
	事業活動支出の部	人件費	1,269,358	1,190,530	78,828
		教育研究経費	1,019,061	994,137	24,924
		管理経費	413,842	381,267	32,575
		徴収不能額等	8,000	8,000	0
		教育活動支出計	2,710,261	2,573,934	136,327
	教育活動収支差額		35,216	211,515	△ 176,299

（単位：千円）

		科　目	本年度予算	前年度予算	増(△)減
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	21,386	16,072	5,314
		教育活動外収入計	21,386	16,072	5,314
	事業活動支出の部	科　目	本年度予算	前年度予算	増(△)減
		借入金等利息	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0
	教育活動外収支差額		21,386	16,072	5,314
経常収支差額			56,602	227,587	△ 170,985
特別収支	事業活動収入の部	科　目	本年度予算	前年度予算	増(△)減
		資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	0	0	0
		特別収入計	0	0	0
	事業活動支出の部	科　目	本年度予算	前年度予算	増(△)減
		資産処分差額	502	502	0
		特別支出計	502	502	0
		特別収支差額	△ 502	△ 502	0
〔予備費〕			30,000	30,000	0
基本金組入前当年度収支差額			26,100	197,085	△ 170,985
基本金組入額合計			△ 341,978	△ 42,448	△ 299,530
当年度収支差額			△ 315,878	154,637	△ 470,515
前年度繰越収支差額			4,989,087	4,834,450	154,637
基本金取崩額			0	0	0
翌年度繰越収支差額			4,673,209	4,989,087	△ 315,878
（参考）					
事業活動収入計			2,766,863	2,801,521	△ 34,658
事業活動支出計			2,740,763	2,604,436	136,327

＜千円未満切り捨て＞